

単元名 ボール運動(ゴール型)バスケットボール

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) ゴール型では、その行い方を理解するとともに、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをすることができる。
- (2) ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) 運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりしようとする。

標準的な展開例

05100302_001

【準備等】バスケットボール5号、カラーコーン、学習カード、学習資料など

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|--|---|
| <p>1 バスケットボールのねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや進め方を知る。 <p>★状況に応じたパスやドリブル、シュートをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習カードや資料の使い方を知る。 ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○チームを編成し、役割を分担する。 ○バスケットボールに関連した体ほぐしの運動をする。 ○試しのゲームをし、課題をつかむ。 <p>2～4 バスケットボールを基にした簡易化されたゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体ほぐしの運動をする。 ○ドリルゲームをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ドリブルリレー、シュートリレー、パス競争など ○ゲームの進め方の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、マナー、対戦相手 <p>○チームの課題や作戦を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1ゲームをする。 ○反省し、練習をする。 <p>○第2ゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・課題、作戦、マナーなど <p>5～6 チームに合った作戦を立て、ルールを工夫してゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ドリルゲームをする。 ○ゲームの進め方の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、マナー、対戦相手 ○対戦相手と、ルールについて話し合う。 <p>○チームの課題や作戦を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1ゲームをする。 ○反省し、練習をする。 <p>○第2ゲームをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・攻守が入り交じって行うゲームの特性を理解させる。 ・パス、ドリブル、シュートなどの基礎技能の大切さを理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・1チーム4～7人、男女混合で編成する。 ・1チーム1～2試合行う。 ・1試合7分程度で行う。 <p>＜基本的なルール＞</p> <p>ボールを持って3歩以上歩かない（トラベリング）、一度ドリブルをやめたら再びドリブルはできない（ダブルドリブル）、相手を押したり、たたいたり、足をかけたりしてはいけない（ファウル）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パス、ドリブルなどについてルールを簡易化したゲームを行う。 ・いろいろなチームと対戦することを知らせる <p>＜ルールや場の例＞</p> <p>3対3などの少人数ゲーム、リングに当たれば1点入れば2点、フリーシュートゾーン、攻撃側のプレーヤーを増やす、守備側のプレーを制限するなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を立てられないチームには、話合いに教師が加わって助言する。 ・ゲームの結果から、チームの課題が合った動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 ・第1ゲームとは別のチームと対戦させる。 <p>【評】チームで協力してゲームをする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じチームと2ゲーム以上行うことを知らせる。 ・相手チームとの話合いでルールや場の工夫がうまくいっているか確認する。 <p>＜ルールや場の工夫例＞</p> <p>グリッドコート、ドリブルなしなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を立てられないチームには、話合いに教師が加わって助言する。 ・ゲームの結果から、チームの課題に合った動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 ・第1ゲームと同じチームと対戦させる。 <p>【評】チームに合った課題をもって練習する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> |

- 反省し、まとめをする。
 - ・ 課題，作戦，練習方法，ルールなど
- 7～8 バスケットボール大会をする。
 - 体ほぐしの運動をする。
 - バスケットボール大会をする。
- 第8時は，単元のまとめをする。

- る。
- ・ 練習の成果を確認させる。
- ・ チームに合った作戦を立てさせる。
- 【評】 ゲームを通して，「知識・技能」を評価する。
- ・ チームでの話合いや学習カードによる自己評価などをさせる。

【 備 考 】

バスケットボールは，コート内で攻守が入り交じり，得点を競い合うゴール型の運動である。本単元では，パス，ドリブル，シュートなどの基礎技能をドリルゲームなどで楽しく身に付けさせ，いろいろなチームとゲームを行う学習と対戦相手を決め，自分たちに合ったルールや作戦を工夫してゲームを行う学習を設定した。

＜運動が苦手な児童への配慮の例＞

- ・ 得点しやすい場所に移動し，パスを受けてシュートなどをすることが苦手な児童には，シュートが入りやすい場所に目印を付けたり，ボールを保持した際に最初にゴールを見ることを助言したりするなどの配慮をする。
- ・ ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることが苦手な児童には，仲間にゴールの位置を教えるよ